平成19年12月期中間決算 参考資料

1.	連結損益の状況	•••	1
2.	利益増減主要因(計画比)		2
3.	利益增減主要因(前年比)	•••	3
4.	連結貸借対照表及び増減主要因	•••	4
5.	設備投資、減価償却費、キャッシュ・フロー		6
6.	連結通期予想	•••	7
7.	セールス状況	•••	8
8.	自動販売機の設置状況	•••	11
9.	ホームマーケットシェア	•••	11
10.	株式の状況 (個別)		12



コカ・コーラウエストホールディングス株式会社 平成19年8月9日

1. 連結損益の状況

(平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(単位:百万円、%)

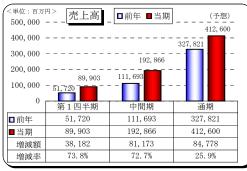
						(1 1===	. 11/3/13/ /0/	
	平成18年		平成19年中間期					
	中間期	計 画	実 績	計画	町比	前年	三比	
	実績	*		増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	111, 693	195, 500	192, 866	△ 2,633	△ 1.3	81, 173	72.7	
営業利益	3, 129	4, 300	4, 137	△ 162	△ 3.8	1, 007	32. 2	
経常利益	3, 464	4, 700	4, 851	151	3. 2	1, 387	40.0	
中間純利益	1, 729	2, 700	2, 690	△ 9	△ 0.3	961	55. 6	

※計画は平成19年2月7日付で発表した通期の業績予想値に基づく数値です。

<参考> 連結営業利益:減価償却方法変更による影響を除いた場合の比較

(単位:百万円、%)

	平成18年		平成19年中間期				
	中間期	計 画	実 績	計画比		前年	F 比
	実績	*		増減額	増減率	増減額	増減率
営業利益	3, 129	4, 300	4, 606	306	7. 1	1, 476	47.2



<中間期実績>

経営統合による規模(営業エリア等)の拡大に伴う増加などにより、売上高は前年同期に比べ811億7千3百万円増加し、1,928億6千6百万円(72.7%増)となりました。

<通期予想>

前回予想(平成19年2月7日)に比べ31億円減の 4,126億円(前年同期比25.9%増)を予想しており ます。



<中間期実績>

営業利益は前年同期に比べ10億7百万円増加し、41億3千7百万円(32.2%増)となりました。

<通期予想>

前回予想(平成19年2月7日)に比べ5億円増の150億円(前年同期比21.7%増)を予想しております。



<中間期実績>

経常利益は前年同期に比べ13億8千7百万円増加 し、48億5千1百万円(40.0%増)となりました。

<通期予想>

前回予想(平成19年2月7日)に比べ10億円増の163 億円(前年同期比23.3%増)を予想しております。



<中間期実績>

中間純利益は前年同期に比べ9億6千1百万円増加し、26億9千万円(55.6%増)となりました。

<通期予想>

前回予想(平成19年2月7日)に比べ5億円増の94億円(前年同期比24.2%増)を予想しております。

2. 利益增減主要因(計画比)

(平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	平成19年	三中間期	1.44.74.44.14	ナな横浜亜田		
	計画 ※1	実績	増減額	主な増減要因		
売上高	195, 500	192, 866	△ 2,633	・エリア外販売数量の増・販売会社(※2)の影響セールスミックスによる減販売数量の減・受託事業の減・その他	$ \begin{array}{c} 623 \\ $	
売上原価	110, 700			販売数量の減 ・受託事業の減 ・その他	$ \begin{array}{c} 587\\ \triangle 1,358\\ \triangle 349\\ \triangle 84\\ 587 \end{array} $	
売上総利益	84, 800	82, 783	\triangle 2,016			
販売費及び一般管理費	80, 500	78, 646	△ 1,853	・減価償却方法変更による影響・広告宣伝費の減・販売手数料の減・人件費の減・保守費の減・消耗品費の減・減価償却費の減・その他	$ \begin{array}{c} 461 \\ \triangle 510 \\ \triangle 175 \\ \triangle 134 \\ \triangle 125 \\ \triangle 106 \\ \triangle 98 \\ \triangle 1,166 \end{array} $	
営業利益	4, 300	4, 137	△ 162		·	
営業外収益	900	1, 224	324	・南九州グループ新規持分法適用による影響 ・その他	154 170	
営業外費用	500	510	10			
経常利益	4,700	4, 851	151			
特別利益	300	277	\triangle 22	・固定資産売却益	\triangle 22	
特別損失	300	542	242	・品質問題対策損失・固定資産除却補償金・その他	$ 157 124 $ $ \triangle 39 $	
税金等調整前中間純利益	4, 700	4, 586	△ 113			
法人税等	2,000	1,892	△ 107			
少数株主利益又は少数株主損失(△)	_	3	3			
中間純利益	2,700				-	

^{※1} 上記計画は平成19年2月7日付で発表した通期の業績予想値に基づく数値です。

^{※2} 販売会社とは、コカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社、

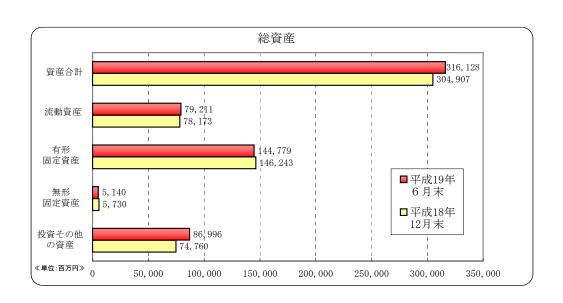
三笠コカ・コーラボトリング株式会社の3社です。

3. 利益増減主要因 (前年比) (平成19年1月1日~平成19年6月30日)

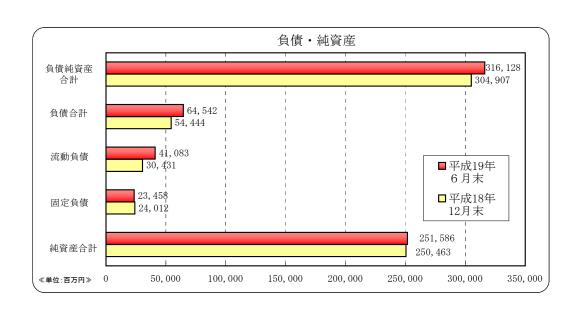
(単位:百万円)

i					(単位:自力円)
	平成18年 中間期	平成19年 中間期	増減額	主な増減要因	
売上高	111, 693	192, 866	81, 173	・近畿グループの増・販売数量の増・計上科目変更による増・受託事業の増・セールスミックスによる減・その他	80, 601 1, 033 202 103 △ 1, 286 520
売上原価	62, 484	110, 082	47, 598	・近畿グループの増・計上科目変更による増・販売数量の増・商品購入価格の増・受託事業の増・セールスミックスによる減・その他	$45,029$ $2,103$ 563 202 50 $\triangle 815$ 466
売上総利益	49, 208	82, 783	33, 574		
販売費及び一般管理費	46, 079	78, 646	32, 566	・近畿グループの増・減価償却方法変更による影響・販売手数料の増・計上科目変更による減・広告宣伝費の減・その他	$34,423$ 317 313 \triangle 1,901 \triangle 728 142
営業利益	3, 129	4, 137	1,007		
営業外収益	696	1,224	527		
営業外費用	361	510	148		
経常利益	3, 464	4,851	1, 387		
特別利益	_	277	277	・固定資産売却益	277
特別損失	119	542		・品質問題対策損失 ・固定資産除却補償金 ・地震対策費用 ・経営統合関連費用 ・その他	157 152 108 △ 64 69
税金等調整前中間純利益	3, 345	4, 586	1, 241		
法人税等	1, 709	1,892	182		
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 94	3	97		
中間純利益	1,729	2,690	961		·

				(単位:百万円)
	平成18年 12月末	平成19年 6月末	増減額	主な増減要因
流動資産	78, 173	79, 211	1,038	
現金及び預金	16, 311	16, 242	△ 69	
受取手形及び売掛金	22, 280	24, 471	2, 190	
有価証券	10,668	11, 370	702	
たな卸資産	11, 778	11, 331	△ 446	
繰延税金資産	2, 200	1,972	△ 228	
その他	15, 031	13, 916	△ 1,115	・前渡金の減
貸倒引当金	△ 97	△ 92	5	
固定資産	226, 734	236, 916	10, 182	
有形固定資産	146, 243	144, 779	△ 1,463	
建物及び構築物	35, 617	34, 878	△ 739	
機械装置及び運搬具	20, 134	19, 475	△ 659	
販売機器	30, 857	30, 966	108	
土地	57, 366	56, 966	△ 399	
建設仮勘定	56	432	375	
その他	2, 211	2,061	△ 150	
無形固定資産	5, 730	5, 140	△ 589	
ソフトウェア他	5, 730	5, 140	△ 589	
投資その他の資産	74, 760	86, 996	12, 235	
投資有価証券	53, 277	63, 663	10, 386	・南九州社株式取得による増
繰延税金資産	4, 703	4, 814	111	
前払年金費用	10, 406	12, 349	1, 943	・企業年金基金への拠出による増
その他	6, 967	6, 712	\triangle 255	
貸倒引当金	△ 594	△ 544	49	
資産合計	304, 907	316, 128	11, 220	



Í				(平位・日ガロ)
	平成18年 12月末	平成19年 6月末	増減額	主な増減要因
流動負債	30, 431	41, 083	10, 651	
支払手形及び買掛金	3, 828	4, 653	825	
短期借入金	_	10, 512	10, 512	・南九州社への出資資金調達による増
1年以内に返済する長期借入金	2, 300	2, 300	_	
未払法人税等	2,674	1, 453	△ 1,221	・法人税納付による減
未払金	13, 866	12, 662	△ 1, 204	
設備支払手形	702	138	\triangle 564	
その他	7, 059	9, 364	2, 304	
固定負債	24, 012	23, 458	△ 553	
長期借入金	2,000	1,000	△ 1,000	
繰延税金負債	11, 122	11, 839	717	
退職給付引当金	4,770	4, 982	211	
役員退職引当金	249	58	△ 190	
負ののれん	1,867	1, 659	△ 207	
その他	4,002	3, 917	△ 84	
負債合計	54, 444	64, 542	10, 098	
資本金	15, 231	15, 231		
資本剰余金	109, 072	109, 073	1	
利益剰余金	135, 623	135, 978	354	
自己株式	△ 11, 229	△ 11, 249	△ 19	
評価・換算差額等	1,710	2, 495	785	
少数株主持分	54	55	0	
純資産合計	250, 463	251, 586	1, 122	
負債純資産合計	304, 907	316, 128	11, 220	



<u>5. 設備投資、減価償却費、キャッシュ・フロー(連結)</u> (平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(1) 設備投資、減価償却費

(単位:百万円)

		平成18年 中間期	平成19年 中間期
⇒n,	土地	415	109
設	建物・構築物	1, 105	661
1/用	機械及び装置	912	639
~ 沒	販売機器	6, 996	6, 829
設備投資額	その他	1,855	1, 923
.,.	計	11, 283	10, 161
減価償	對對	6, 566	11, 340

(2) キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

		(1	
	平成18年 中間期	平成19年 中間期	
営業活動による キャッシュ・フロー	6, 963	12, 066	
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 12,949	△ 19,470	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,309	7, 135	
現金及び現金同等物の 期末残高	12, 942	22, 014	

6. 連結通期予想 (平成19年1月1日~平成19年12月31日)

(1)業績予想

(単位:百万円、%)

			(+1	D /3 11 /0/			
	平成18年		平成19	増減額	増減率		
	実績(①)	前回	修正(②)	増減額	増減率	2-1	2/1
売上高	327, 821	415, 700	412, 600	△ 3, 100	△ 0.7	84, 778	25. 9
営業利益	12, 321	14, 500	15, 000	500	3. 4	2,678	21. 7
経常利益	13, 225	15, 300	16, 300	1,000	6. 5	3, 074	23. 3
当期純利益	7, 570	8,900	9, 400	500	5. 6	1,829	24. 2

(2) 設備投資、減価償却費

(単位:百万円、%)

		(1 1 1 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7				
		平成18年	平成19年予想			
		実績	前回	修正	増減額	増減率
∴ н.	土地	828	2, 108	2, 169	61	2. 9
設	建物・構築物	3, 691	3, 798	3, 365	△ 433	△ 11.4
備 投	機械及び装置	2, 716	1, 987	4, 112	2, 125	106. 9
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	販売機器	12, 187	14, 362	11,658	\triangle 2, 704	△ 18.8
資額	その他	2, 598	5, 232	5, 656	424	8. 1
151	計	22, 020	27, 489	26, 962	△ 527	△ 1.9
減価償却費		19, 571	24, 831	22, 926	\triangle 1, 905	△ 7.7

(3) キャッシュ・フロー

(単位:百万円、%)

	平成18年 平成19年予想				
	実績	前回	修正	増減額	増減率
営業活動による キャッシュ・フロー	21, 806	32, 199	30, 076	△ 2, 123	△ 6.6
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 14,956	△ 22,915	△ 36, 279	△ 13, 364	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 9, 244	△ 8,901	3, 611	12, 512	
現金及び現金同等物の 期末残高	22, 284	22, 667	19, 692	△ 2,975	△ 13.1

7. セールス状況 (平成19年1月1日~平成19年6月30日)

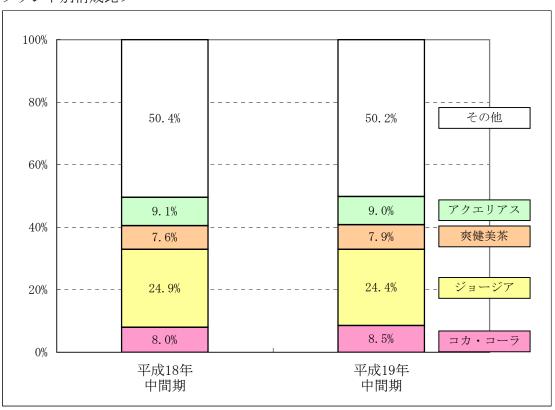
<ブランド別>

(単位: 千ケース、%)

	平成18年 中間期	平成19年 中間期	増減率
コカ・コーラ	6, 771	7, 387	+9. 1
ジョージア	21, 123	21, 125	+0.0
爽健美茶	6, 438	6, 843	+6.3
アクエリアス	7, 700	7,810	+1.4
スプライト	301	668	+122. 1
ファンタ	3, 713	3, 498	△ 5.8
リアルゴールド	913	938	+2.8
煌、からだ巡茶	767	1, 142	+48.8
そ まろ茶、一(はじめ)	4, 065	3, 406	△ 16.2
の紅茶花伝	2, 760	2, 590	△ 6.1
他 Qoo、HI-C、ミニッツメイド	2, 277	2, 591	+13.8
森の水だより、ミナクア	2,658	3, 519	+32.4
その他	3, 629	3, 050	△ 15.9
シロップ、パウダー、食品	21, 717	21, 965	+1.1
合計	84, 832	86, 532	+2.0

注)実績はコカ・コーラウエストジャパン、近畿コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリングの合計値。 一部商品に数量換算値の変更があり、前年に遡って訂正。

<ブランド別構成比>

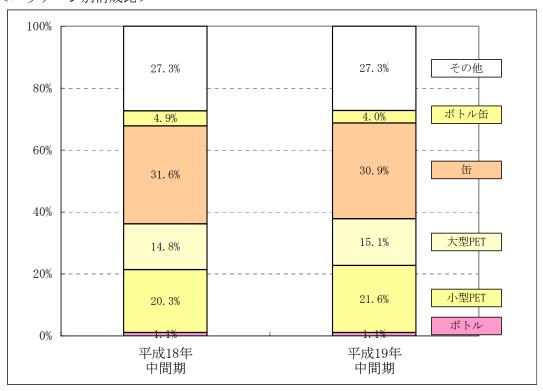


(単位: 千ケース、%)

	(単位: 十ケース、%				
			平成18年 中間期	平成19年 中間期	増減率
ボ		リターナブル	698	712	+1.9
7		ワンウェイ	232	229	△ 1.2
ル		小計	930	941	+1. 1
	.1.	\sim 350m1	4, 717	4, 968	+5.3
_	小型	$\sim 500 \mathrm{m}1$	11, 577	12, 961	+12.0
P	土	~ 1000 ml	908	793	△ 12.6
E T 大型	大	\sim 1500ml	3, 876	3, 868	△ 0.2
	型	~ 2000 ml	8, 658	9, 219	+6.5
	小計		29, 736	31, 809	+7.0
		\sim 200m1	18, 359	18, 244	△ 0.6
	\sim 250m1		3, 736	3, 507	△ 6.1
缶	$\sim 350 \mathrm{ml}$		4, 135	4, 353	+5.3
		\sim 500ml	536	638	+19.0
		小計	26, 766	26, 742	△ 0.1
ボトル缶		4, 131	3, 454	△ 16.4	
その他	の他 2,868 2,936		+2.3		
シロップ、パウダー、食品		20, 401	20, 650	+1.2	
合計	·		84, 832	86, 532	+2.0

注)実績はコカ・コーラウエストジャパン、近畿コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリングの合計値。 一部商品に数量換算値の変更があり、前年に遡って訂正。

<パッケージ別構成比>

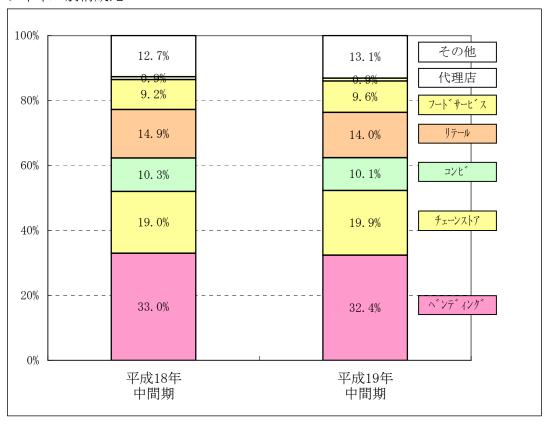


(単位: 千ケース、%)

	平成18年 中間期	平成19年 中間期	増減率
ベンディング ※1	27, 979	28, 015	+0.1
チェーンストア ※2	16, 131	17, 222	+6.8
コンビ ※3	8, 745	8, 751	+0.1
リテール ※4	12, 641	12, 080	△ 4.4
フードサービス ※5	7, 826	8, 345	+6.6
代理店 ※6	775	788	+1.7
その他	10, 735	11, 331	+5.6
合計	84, 832	86, 532	+2.0

- 注)実績はコカ・コーラウエストジャパン、近畿コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリングの合計値。 一部商品に数量換算値の変更があり、前年に遡って訂正。
- ※1 ベンディング:自動販売機を通じてお客さまに商品を届けるビジネスのこと(小売業)。
- ※2 チェーンストア:スーパーマーケット等におけるビジネスのこと(卸売業)。
- ※3 コンビ:コンビニエンスチェーン店の手売りマーケットにおけるビジネスのこと。
- ※4 リテール:一般食料品店、酒屋などの手売りマーケットにおけるビジネスのこと。
- ※5 フードサービス:外食マーケットにおいて、シロップ販売を行うビジネスのこと。
- ※6 代理店:離島、遠隔地において、コカ・コーラ製品をオペレーションしていただいている協力会社のこと。

<チャネル別構成比>



8. 自動販売機の設置状況

(1) 設置台数状況

(単位:台)

				(- -
	平成18年	平成19年1月-6月		平成19年
	12月末	投入	引揚	6月末
資レギュラー	93, 592	4, 783	\triangle 7, 657	90, 718
産力ルサービス	142, 825	17, 750	\triangle 17, 561	143, 014
機力ップマシン	20, 663	886	\triangle 1, 291	20, 258
小計	257, 080	23, 419	\triangle 26, 509	253, 990
売却機	1, 364	0	\triangle 250	1, 114
合計	258, 444	23, 419	\triangle 26, 759	255, 104

[※] 上記台数は、コカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社、 三笠コカ・コーラボトリング株式会社の合計台数。

(2) 台数シェア

(単位:%)

	平成18年	平成19年
アウトマーケット	36. 3	_

[※] 平成19年は現在集計中

出典:ニールセン 自販機サーベイ (調査期間:毎年6月)

9. ホームマーケットシェア

(平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(1) カテゴリー別ホームマーケットシェア

(単位:%)

	平成18年	平成19年
	中間期	中間期
合計	22.4	21. 5
炭酸	47.5	48. 2
コーラ炭酸	76. 4	78. 5
フレーバー炭酸	53. 6	50.8
果汁	6. 1	5. 2
コーヒー	20. 5	18.6
缶コーヒー	50. 5	49.8
無糖茶	22.0	21. 1
中国茶	6.5	9. 5
日本茶	9.9	6. 6
ブレンド茶	76. 2	71.8
紅茶	12. 1	10.7
スポーツ	51. 1	51. 2
フィットネス	17. 1	17. 9
乳類	5. 4	4. 1
ミネラルウォーター	13.8	13. 5

(出典:インテージ ストアオーディット)

※ホームマーケットシェアとはスーパー、コンビニエンスストア、酒店、食料品店におけるシェアをいう。

(2) 業種別ホームマーケットシェア

(単位:%)

		(+12:/0/
	平成18年 中間期	平成19年 中間期
合計	22.4	21.5
スーパー	21.6	21.0
コンビニエンスストア	20. 2	19. 2
酒店	24. 2	22.7
食料品店	38.3	37.9
ドラックストア	18.6	19. 5

(出典:インテージ ストアオーディット)

※ホームマーケットシェアとはスーパー、コンビニエンスストア、酒店、食料品店におけるシェアをいう。

10. 株式の状況(個別)

<株主数・株式数>

(単位:人、千株、%)

	TE 24 TEA							
		平成18年12月末			平成19年6月末			
	株主数	構成比	株式数	構成比	株主数	構成比	株式数	構成比
金融機関	84	0.4	18, 676	16.8	80	0. 3	16, 195	14. 6
証券会社	28	0.1	822	0.7	30	0. 1	599	0.5
その他の法人	510	2.2	48, 839	44.0	502	2. 2	48, 696	43.8
外国法人等	248	1.0	25, 008	22.5	257	1. 1	28, 317	25. 5
個人その他	22, 873	96. 3	12, 845	11.6	22, 377	96. 3	12, 377	11. 1
自己名義株式	1	0.0	4, 932	4. 4	1	0.0	4, 939	4. 5
合計	23, 744	100.0	111, 125	100.0	23, 247	100.0	111, 125	100.0